

PB製品の開発から 自社ブランドの確立へ



大平工業株式会社

歯ブラシ界のPB先駆者

歯ブラシや歯間ブラシ等の口腔衛生品の製造で着実に地歩を固めてきた大平工業。当初は大手メーカーの委託を受けての歯ブラシ製造が主だったが、やがて大手量販店向けにPB（プライベートブランド）製品の開発に注力するようになる。歯ブラシのPBはまさに同社が先駆けだった。昭和55年には営業部門を独立させ、販売会社として株式会社ジャックスを設立。平成6年には自社ブランド「デンタルプロシリーズ」を発売。ヒット商品となった同シリーズで、歯ブラシ市場における同社の存在感は一気に高まった。

歯間ブラシの価格破壊

一方で佐野晃社長は歯間ブラシの市場にも目を向けていた。平成4年頃、当時すでに歯間ブラシは市場に出ていたものの、歯ブラシの価格が1本100円程度に対し歯間ブラシは3、4本で350円程度と手に取りやすい価格とは言えなかった。「歯間ブラシをもっと安くしてほしい」というのは、間違いなく世間のニーズだった」と佐野社長は当時を振り返る。その頃、同社の役員が視察先のドイツでマスカラを自動製造する機械を目にする。これは歯間ブラシに応用できるかもしれないと、早速その機械を基に研究を開始。数年後には8本入り360円という、従来になかった低価格品を市場に送り出したのだ。

ユーザーを第一義に 他社にない無償交換サービス

現在では歯間サイズごとに、SS（最小通過径0.7mm）～LL（同1.9mm）までの6つのサイズを用意し、ユーザーの使い勝手に考慮しているが、同社の顧客第一主義はこれにとどまらない。

典型的なものが同業他社が実施していない、歯間ブラシの無償交換サービス。サイズが合わない場合は開封済みの商品でも無料で交換を受け付ける。このサービスは10年間で約2万世帯が利用したという。歯間ブラシを立てることができるホルダーをセッとした商品も出す等、細やかに行き届いた気遣いが感じられる。

独自開発の特殊毛が 学会でも高い評価

歯ブラシは誰もが使う生活必需品だけに、機能が求められるのは当然だ。好評のデンタルプロシリーズは、同社がWメリットと称する超極細毛とエッジ加工毛の2種類の特殊毛を備え、歯垢を効果的に除去する。Wメリットは、60か国以上の研究者が集う国際歯科研究学会の総会においても研究発表、論文掲載がなされる等、効果は実証済みだ。

また同シリーズのブラック歯間ブラシは、プラチナコロイドセラミックスを練り込んだ黒色の特殊毛を持ち、水だけでも効果的な歯垢除去を果たす。発売当初の月産数百本から現在では月産数十万本という、こちらも同社ヒット商品のひとつとなった。

口腔衛生品市場は年々拡大しているが、「生活必需品であるにもかかわらず、現在の価格設定は適正とはいえないのでは」と言う。その言葉には、歯間ブラシや歯間ブラシの価値をもっと世間に認めてもらいたい、そんな社長の強い願いが込められている。佐野社長は福祉活動の一環として、タイの小学校に図書館を寄贈する活動を続けている。商品に対する愛情と社会への貢献を忘れない姿勢が、同社の活力につながっていることは間違いない。

大平工業株式会社

住所／〒581-0038
大阪府八尾市若林町2-58
創業／昭和2年6月
設立／昭和27年2月
資本金／3,000万円
従業員／45名（平成21年1月現在）
TEL／072-920-6077
FAX／072-920-6075

Company Profile



佐野 晃さん
代表取締役社長

主な事業内容

歯ブラシ、歯間
ブラシ、デンタル
ケア用品、口腔
衛生品等の製
造等

ISO 14001

全国
18

大阪
14

<http://www.jacks.co.jp/>